



JUNBA 理事会(第 169 回)議事要旨

日 時:令和4年12月22日(木)16:00-16:40

場 所:オンライン

出席者:

【理 事】奈良先端科学技術大学院大学(三宅会長)、名古屋大学(神山副会長)、
大阪大学(Scott 理事)、桜美林大学(丸山理事)

【事務局】日本学術振興会(中別府事務局長、太田副センター長、橘、安藤、遠藤、Abby)

【オブザーバー】名古屋大学(岡田)、大阪大学(東澤)、Institute of Quantum BioFrontiers(千田)

1. 第 168 回及びメール審議 JUNBA 理事会議事要旨の承認について【資料 1】

議事に先立ち、資料 1 に基づき、第 168 回理事会及びメール審議議事要旨案を了承した。

2. 議題

(1) 令和 5 年度 JUNBA 活動計画について【資料 2】

事務局から資料 2 に基づき、JUNBA セミナー開催にかかる経費について、令和4年度は、謝金及び同時通訳費用を全額、当センターから執行していたが、次年度以降は、謝金を当センターから支出し、同時通訳等諸費用を、会員校から支出いただきたい旨、説明の後、諮られ、審議了承された。

主な意見

各校での負担額が、同時通訳費用のみならず、他、諸費用が発生し、大きくなる場合、予め、各校において予算措置できると望ましい。

12月から1月目途に、支出予算額にかかる文書を作成いただくと予算措置もしやすいのではないか。

JUNBA セミナーにおいて、会員が同時通訳を実施することは現実的にかなり厳しいことが見込まれる。

(2) 令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナーについて【資料 3-1~3-4】

事務局及び担当校から、資料 3-1~3-4 に基づき、令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナーの進捗状況及び講演の背景説明として予定している内容について共有があった。

背景説明の内容としては、日本の大学が加盟している SDGs 関連組織について、国際連合事務総長のイニシアチブによってスタートした国連アカデミック・インパクト及び SDSN が挙げられ、日本の大学の加盟状況や活動内容について説明する予定である旨、共有があった。

(3)2月開催の JUNBA 理事会にかかる日程について

事務局から、2月開催の JUNBA 理事会について、JUNBA 勉強会と日程が重なるため、1週間前倒して、2月16日(木)に開催したい旨、説明の後、諮られた。

審議の結果、2月中に三宅会長及びノース理事の渡米計画があるため、2月9日、10日、13日を
目途に対面開催の方向で調整することとなった。

3. 報告事項

(1)各拠点からの令和4年度の活動報告について【資料5】

事務局から、資料4に基づき、報告があった。

その後、資料4に基づき、名古屋大学から共有事項について報告があった。

(2)その他

特になし。

《配布資料》

【資料1】第168回 JUNBA 理事会議事要旨(案)

【資料2】令和5年度活動計画について

【資料3-1】令和4年度第2回 JUNBA セミナー企画(案)(日)

【資料3-2】令和4年度 JUNBA 勉強会通訳見積書

【資料3-3】講演候補者資料(Jolynn Shoemaker 氏)

【資料3-4】講演候補者資料(Camille Kirk 氏)

【資料4】2022年度 JUNBA 活動計画表

次回理事会の日程:令和4年1月19日(木)16時00分～(PST)、20日(金)9時00分～(JST)